

健康危機管理対策専門委員会

目 次

健康危機管理対策専門委員会平成22年度報告書

- I. 県民への「新型インフルエンザ意識・行動」アンケート
- II. 新型インフルエンザ対応に対する地区医師会等の意見交換
- III. そ の 他
- IV. 委 員 会 の 開 催

健康危機管理対策専門委員会

(平成 22 年度)

健康危機管理対策専門委員会平成22年度報告書

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

委員長 横山 隆

担当委員 桑原 正雄

平成 21 (2009) 年に起きた新型インフルエンザパンデミックは、全世界を驚愕させた。広島県においても、推定患者数は 47 万人と多かったものの、行政、保健所、医師会をはじめ関連機関が県民の健康を守るために懸命に努力した結果、インフルエンザによる死亡者は 3 名にとどまった。本委員会ではこのパンデミックの検証を本年度の最大の目標として事業を行ったが、後述するように、県民からのアンケート回答数が 17 万件を超えたために年度内には入力・集計が完了せず、次年度へ繰り越した。

I. 県民への「新型インフルエンザ意識・行動」アンケート

1 アンケート方法

1) 目的

平成 21 年度の新型インフルエンザパンデミックにおける広島県民の受療行動などを知り、今後の対策に資するためにアンケート調査を行った。

2) 方法

平成 22 年 7 月～10 月の間に、広島県の一般県民を対象として、高校生以上の一般用アンケートおよび中学生以下の子どもについての保護者用アンケートを配布して調査した。

3) 調査内容

別紙 (アンケート)

4) アンケート配布対象者

- ①県内のすべての保育園および私立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の全児童・生徒
- ②県内の一部の公立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒
- ③県内の一部の企業の社員
- ④県内の一部の診療所の受診者など

5) アンケート配布方法

- ①保育園：広島県保育連盟連合会に調査協力を依頼し、全施設に配布
- ②私立幼稚園～高等学校：県内の全私立幼稚園～高等学校に依頼し、全施設に配布
- ③公立幼稚園～高等学校：広島県教育委員会に依頼し、圏域地対協ごとに施設に配布
- ④企業：産業医に依頼し、協力受諾企業に配布
- ⑤地域住民：圏域地対協ごとに対象者を選定し、受診者などに配布

6) 回答方法

回答者には協力の意思がある場合のみ回答して頂くとともに、無記名での回答により個人情報保護に努めた。

7) アンケート集計目標

すべての二次医療圏から回収し、全県では一般用：10,000 件および保護者用：50,000 件 (全人口の 2%) を目標とした。

8) 調査の承認

本調査および集計解析については、広島大学疫学研究倫理 審査委員会の承認を得た (疫-411 号)。

2 アンケート回収・入力

1) アンケート回収

依頼した機関において回答者から回収されたアンケートは広島県医師会および広島県健康福祉局健康対策課に集められた。

2) アンケート入力

回答のデータ入力は、広島県医師会、広島県健康福祉局健康対策課および広島大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・疾病制御学教室で開始したが、今年度は約半数しか入力できず、残りの入力および全体の解析は次年度に繰り越した。

3 アンケート回収

アンケート回収件数および解析件数は最終的（平成23年11月）には表1のようであった。回収件数は予定をはるかに上回る件数となり、解析可能な総アンケート件数は176,113件で、これは広島県総人口2,856,308人（平成22年3月現在）に対して6.2%（市町ごとの人口比では0.4~9.6%）に相当するものであった。

その後の検討から、新型インフルエンザと診断された人から回答された件数は、一般用10,059件、保護者用50,721件、合計60,780件であったが、これは県内での新型インフルエンザ罹患者が推定47万人とされていることより、罹患者の12.9%、すなわち罹患者の約8人に1人が本アンケートに回答したことになる。

アンケートの最終的な解析および公表は平成23年度に行うこととしたので、これらについては次年度に報告する。

表1 アンケート回収および解析件数

アンケート	回収件数	除外件数*	解析件数
一般用	50,398	774	49,624
保護者用	128,271	1,782	126,489
計	178,669	2,556	176,113

* 性別、地域、年代のいずれかが無記入あるいは不備で除外した。

調査に協力いただいた県民、関係者、関係団体の皆様やご指導いただいた安井良則主任研究官（国立感染症研究所感染症情報センター）および田中純子教授（広島大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・疾病制御学教室）に深謝いたします。

4 アンケートの中間発表

アンケートの中間とりまとめについては、第3回の本委員会で最終検討した（資料）。その成績を、第85回日本感染症学会総会において「広島県民に対して新型インフルエンザのアンケート調査（広島県地域保健対策協議会調査）」と題して発表した。

II. 新型インフルエンザ対応に対する 地区医師会等の意見交換

平成22年4月22日に市郡地区医師会感染症担当理事連絡協議会・県医師会感染症対策委員会・地対協健康危機管理対策専門委員会合同委員会を開いた。

1 広島県における新型インフルエンザへの対応について県健康対策課より説明した。

この対応については、広島医学63巻6号（477-496ページ、2010年）に詳しく述べてあるが、本論文中には今後の対策の方向性として、①医療機関の整備、②封じ込め期のトリアージ、③リスクコミュニケーション、④医薬品など、⑤学校休業などの措置、⑥感染拡大後の医療連携、⑦ワクチンの供給と優先接種対象者、⑧その他、の各項目に分けて触れている。

本会議においても、各地区医師会より「封じ込めは不完全、意味がない」、「迅速検査キットの備蓄について今後の対応が必要」、「ワクチンの提供が流行に間に合っていなかった」、「校舎基準の統一を図るべきである」などの意見が出された。

2 市郡地区医師会への「新型インフルエンザ対策についてのアンケート」について、広島県医師会から報告した。

「会員への情報伝達方法について」の設問に対しては「メール・FAXを使用」、「情報量が多く、混乱した」などの回答がみられた。

「どのような情報伝達方法が良いと考えられるか」の設問に対しては、「県医師会ホームページに専用欄を設ける」、「情報発信センターを県に設置してもらう」など情報の一元化を求める一方で、「マスコミ、インターネットの発達で過剰な報道に左右されるのは必然である。今後も情報伝達に関しては模索混乱が続くと思われる」などの意見もあった。

「発熱外来の運用・活用等について」の設問に対しては、「自治体の対応にぶれがあった」、「国において対策を検証し、運営方針をあらためて提示してほしい」などの回答であった。

III. その他

麻疹や日本脳炎の予防接種について意見交換を行った。

IV. 委員会の開催

下記の委員会を開催した。

1 健康危機管理対策専門委員会

第1回 平成22年6月10日

第2回 平成22年6月18日

第3回 平成22年11月15日

2 小委員会

平成23年1月26日（水）

資料：アンケート中間まとめ

新型インフルエンザに関するアンケートのまとめ

(中間報告)

～次なる感染症のパンデミックに備えて～

平成22年11月

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

※ 県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された**広島県地域保健対策協議会**は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を行っています。

新型インフルエンザに係るアンケート調査の実施について

広島県地域保健対策協議会
健康危機管理対策専門委員会
委員長 横山 隆

1 主旨

平成21年4月にメキシコ・アメリカ合衆国で発生が確認された新型インフルエンザ(A/H1N1 pdm)は、同年6月に県内で初発患者を確認し、平成22年3月末現在で推定患者数約46万人(県人口の約16%)が感染という状況に至っている。広島県においては、県民のほとんどが免疫を獲得していない状況のなか、関係機関・団体が連携して新型インフルエンザに関する正確な情報の提供に心がけ、発熱相談センター・発熱外来の設置、検査体制の整備、ワクチンの供給・接種その他の感染拡大防止策・重篤化対策等を実施した。

今回実施した対策等については、今年2月にその総括として医療関係者及び行政関係者から多くの意見の集約をしているが、一方の当事者である実際に医療の提供を受けた県民の意見については、未だ把握できていない状況にある。

そこで、今回実施した広報の内容が正しく理解されていたか、実際に県民がとった行動がどうであったのかなどの事項について今後の参考とするため、このアンケート調査を実施する。

2 実施の方法

(1) 対象者

一般県民

(2) 調査期間 平成22年7月から10月

(3) 集計目標

- 一般用アンケート 10,000人(広島県の人口の約0.35%)
高校生以上の方、直接回答
 - 保護者用アンケート 50,000人(広島県の人口の約1.74%)
中学生までの方、保護者が子どものことについて回答
- ※ 以下、それぞれ「一般用」、「保護者用」という。

(4) 方法

- 県民の幅広い層にアンケート用紙を配布する。
なお、原則、中学生までは保護者に回答を求めるものとする。
- 私学の幼稚園～高等学校の園児・学生(保護者)に依頼する。
- 二次医療圏域ごとにそれぞれ調査を実施する。(対象:公立幼稚園・保育所～高等学校、医療機関を受診する患者等)
- 産業医の協力を得て、県内企業に依頼する。

アンケートの回収状況

市町別集計状況

圏域名	圏域人口 (人)	圏域内市 町	市町人口 22.3.31	合計	保護者	一般	対人口比
広島二次	1,336,308	広島市	1,157,495	16,591	15,496	1,095	1.4
		安芸高田市	32,017	468	333	135	1.5
		府中町	50,781	1,320	1,216	104	2.6
		海田町	28,021	745	661	84	2.7
		熊野町	25,440	506	432	74	2.0
		坂町	13,386	376	325	51	2.8
		安芸太田町	7,715	72	54	18	0.9
		北広島町	20,193	343	261	82	1.7
		小計	1,335,048	20,421	18,778	1,643	1.5
広島西二次	147,746	大竹市	29,093	1,421	578	843	4.9
		廿日市市	117,662	2,605	2,046	559	2.2
		小計	146,755	4,026	2,624	1,402	2.7
呉二次	273,922	呉市	244,490	4,465	3,733	732	1.8
		江田島市	27,318	383	274	109	1.4
		小計	271,808	4,848	4,007	841	1.8
広島中央二次	221,441	東広島市	177,912	3,935	3,242	693	2.2
		竹原市	29,509	443	351	92	1.5
		大崎上島町	8,611	16	14	2	0.2
		小計	216,032	4,394	3,607	787	2.0
尾三二次	270,771	三原市	101,258	1,580	1,265	315	1.6
		尾道市	148,398	1,982	1,645	337	1.3
		世羅町	18,269	142	120	22	0.8
		小計	267,925	3,704	3,030	674	1.4
福山・府中二次	527,684	福山市	464,790	9,170	7,422	1,748	2.0
		府中市	44,086	322	231	91	0.7
		神石高原町	11,066	33	20	13	0.3
		小計	519,942	9,525	7,673	1,852	1.8
備北二次	100,278	三次市	57,840	1,085	859	226	1.9
		庄原市	40,958	871	686	185	2.1
		小計	98,798	1,956	1,545	411	2.0
計	2,878,150	23	2,856,308	48,874	41,264	7,610	1.7
その他			—	665	125	540	—
計			—	49,539	41,389	8,150	—
無回答			—	284	264	20	—
総合計				49,823	41,653	8,170	

※ 平成 22 年 10 月 19 日現在の集計状況

年齢別集計状況

保護者用

年齢	回答数
0歳	290
1歳	1,300
2歳	2,103
3歳	8,063
4歳	10,592
5歳	10,909
6歳	3,195
7歳	470
8歳	416
9歳	354
10歳	299
11歳	275
12歳	910
13歳	992
14歳	830
15歳	237
16-19歳	21
計	41,256

全体

年代	回答数
10代未満	37,692
10代	3,601
20代	2,395
30代	2,044
40代	1,690
50代	1,607
60代	312
70代	34
80代以上	7
計	49,382

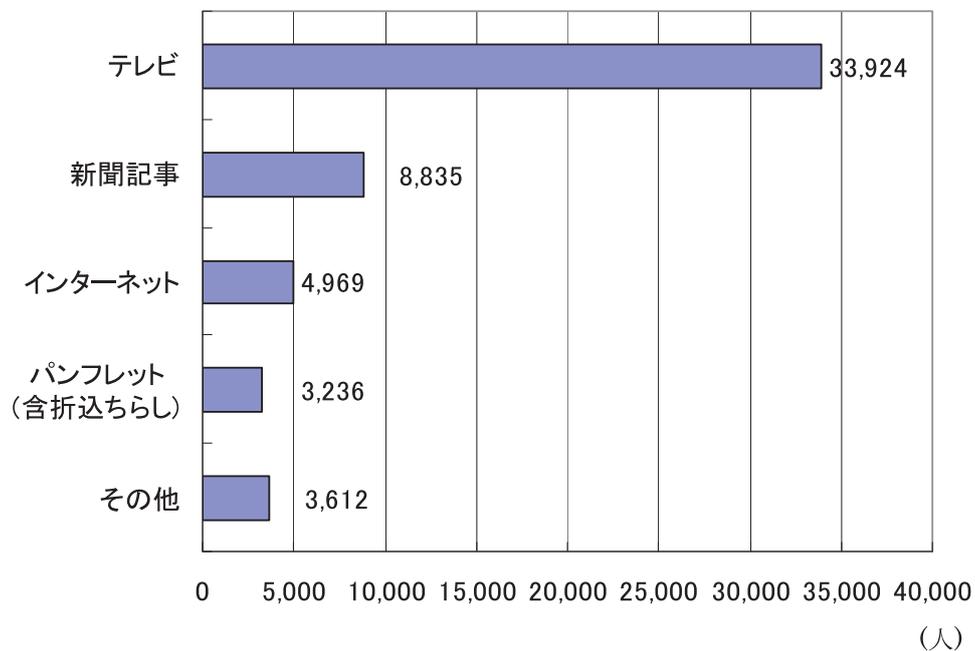
※1 市町不明なものも年齢・年代が回答されている場合には含めている。

※2 年齢不明なものは省く。

コメント

- 有効総回答は 49,823 件であった。
- 年齢別では、調査開始が夏休み前となったため、保育所及び企業からの回答が中心となった。
- 保護者用で 16-19 歳，一般用で 70 代以上の回答が少なかった。
- 以上のことから，データの的には 3-5 歳の保護者の回答が多く寄せられた。
- 市町別にみると安芸太田町，大崎上島町，世羅町，神石高原町，府中市で人口比 1.0%を下回る回答率であったが，県全体では人口比 1.7%の回答を得た。

問4 あなたは新型インフルエンザに関する情報で、どの情報が一番役立ちましたか？
【保護者用・一般用】 有効延回答数:54,576件



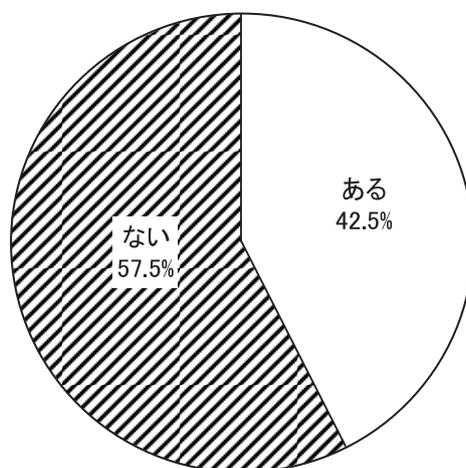
コメント

- 回答のうち、33,924件(有効回答数の62.2%)の者が「テレビ」との回答であった。
- 想定ではインターネット情報も情報源として優位と考えていたが、4,969件(9.1%)と低位であった。

問5 あなたのお子様が、新型インフルエンザにかかったと思ったことがありますか？

【保護者用 全シーズン】

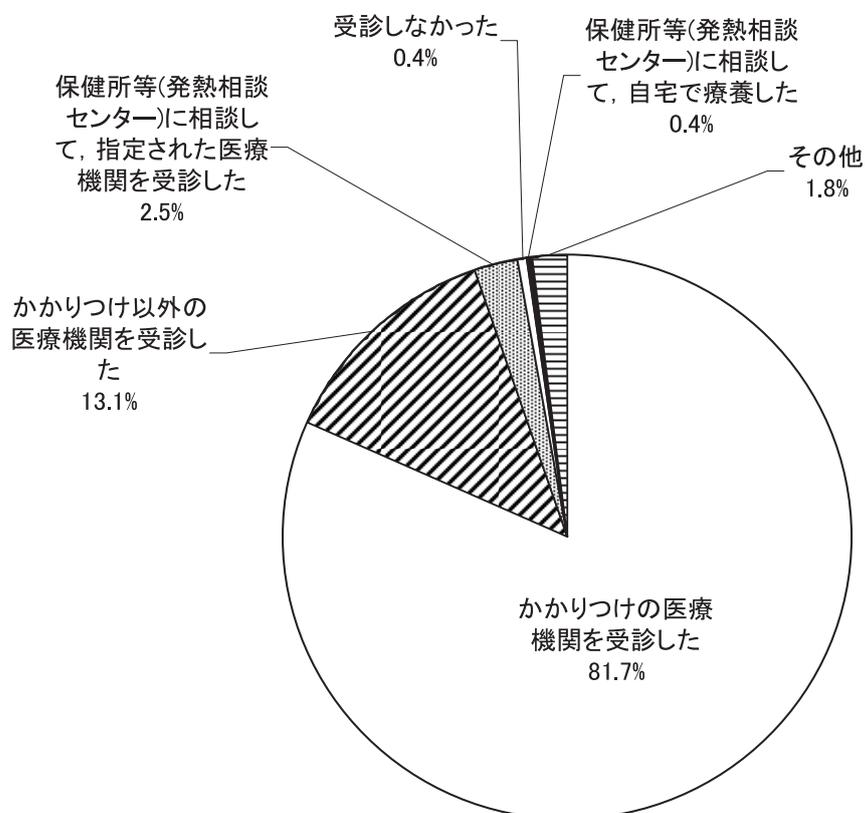
有効回答数：41,567件



問5 新型インフルエンザにかかったと思ったとき、どうされましたか？

【保護者用 全シーズン】

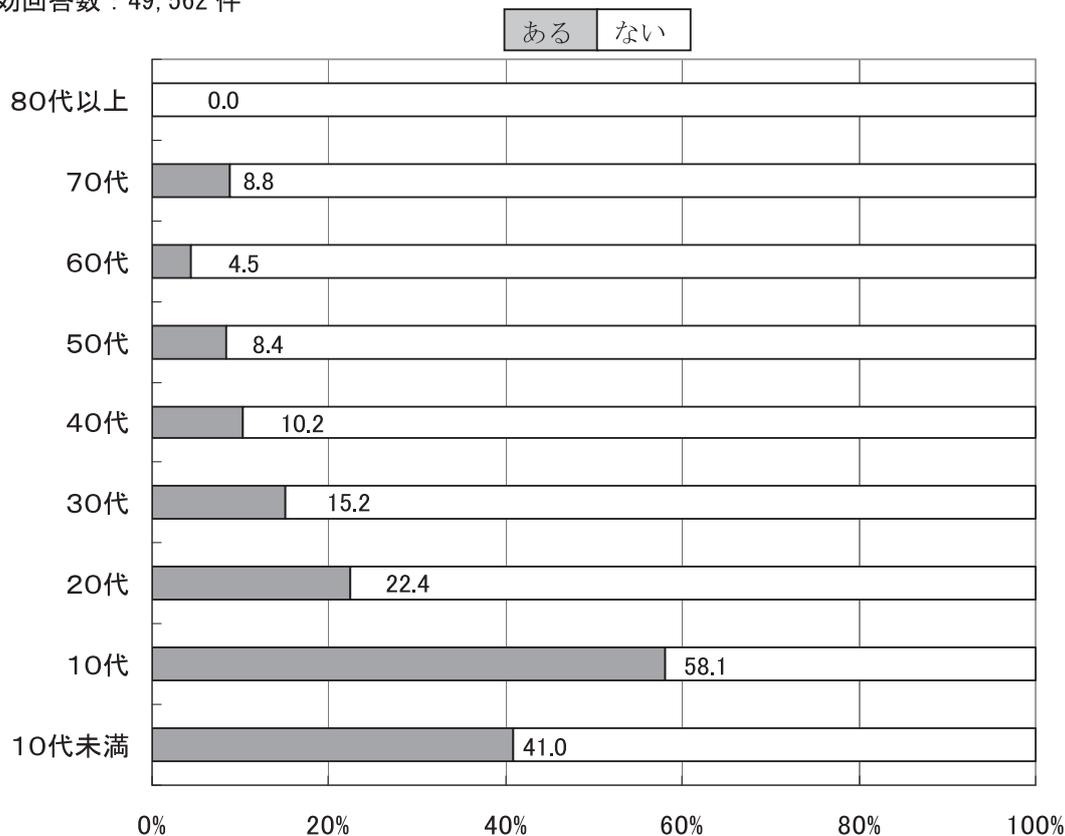
有効延回答数：17,808件



問5 新型インフルエンザにかかったと思ったことがありますか？

【一般用・保護者用】

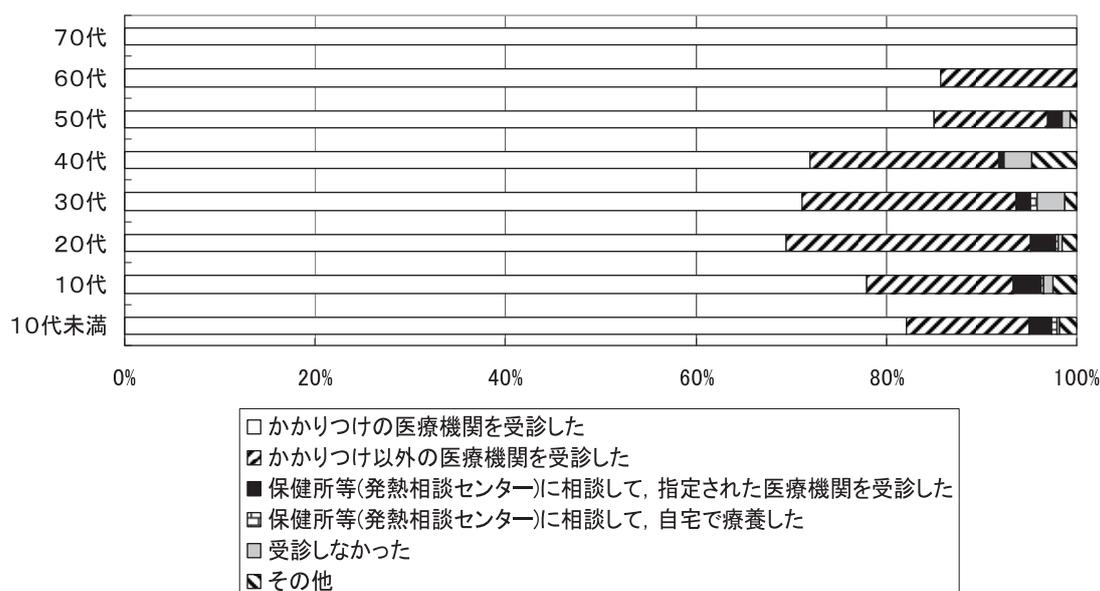
有効回答数：49,562件



問5 新型インフルエンザにかかったと思ったとき、どうされましたか？

【一般用・保護者用】

有効延回答数：18,913件



参考：新型インフルエンザ相談件数(発熱相談センター)

月別内訳

	保健所	健康対策課	コールセンター	合計
平成 21 年 5 月	1,935	1,752	—	3,687
6 月	1,232	758	2,113	4,103
7 月	357	103	678	1,138
8 月	635	169	694	1,498
9 月	634	314	1,409	2,357
10 月	990	2,015	2,099	5,104
11 月	871	2,136	2,446	5,453
12 月	429	905	950	2,284
合計	7,083	8,152	10,389	25,624

内容別内訳(延べ件数)※

相談内容	件数
症状等の健康相談に関する事	13,946
医療体制等に関する事	5,501
予防・治療等に関する事	3,194
ワクチンに関する事(県民対応)	236
ワクチンに関する事(医療機関対応)	154
その他	2,768
総数	25,799

※ 県保健所・健康対策課・コールセンター県分のみ

コメント

保護者用

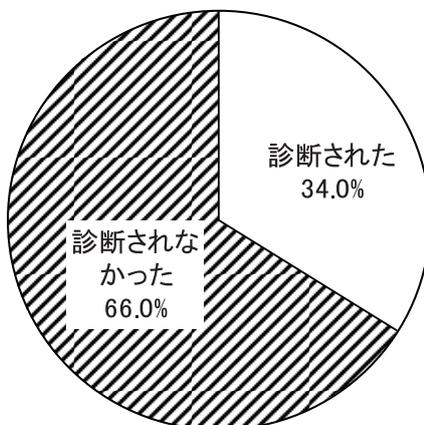
- 新型インフルエンザにかかったと思った者は、17,675 件 42.5%であった。逆にかかったと思わなかった者は 23,892 件 57.5%であった。
- 実際にかかったと思った者のうち、14,542 件 82.0%がかかりつけの医療機関を受診している。発熱相談センターに連絡をしたと回答したものは、527 件 2.9%であった。
- この傾向は、実際に 6 月に新型インフルエンザと診断された者についても、かかりつけの医療機関を受診した者 85 件 85.9%、発熱相談センターに連絡した者 3 件 3.0%と同様な傾向であった。

一般用

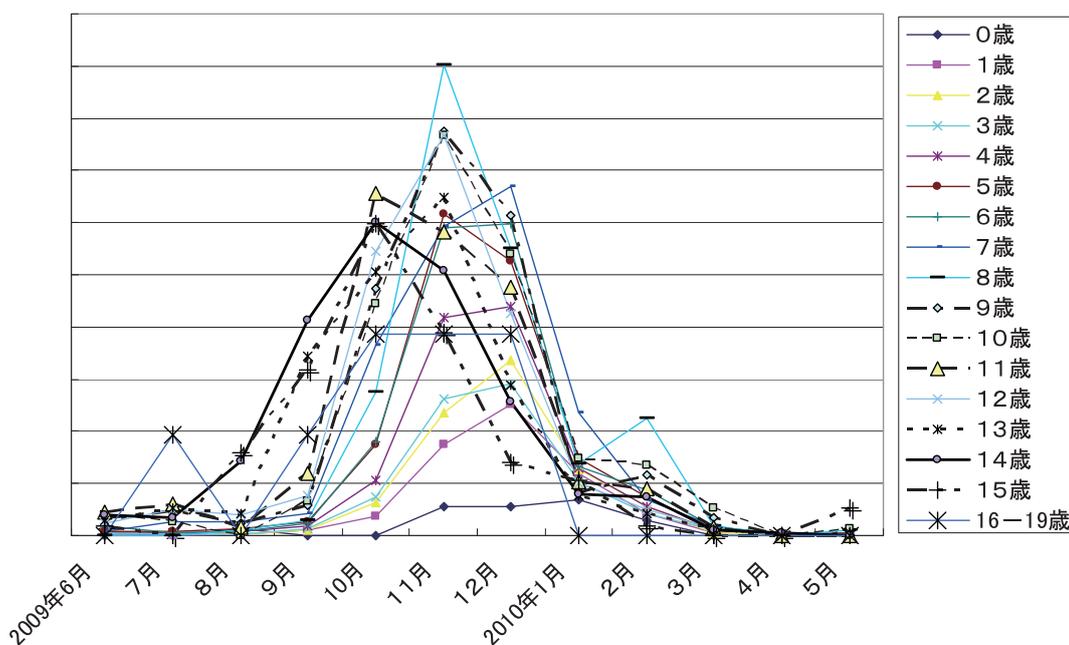
- 新型インフルエンザにかかったと思った者は、20 代で 536 件 22.4%、310 件 30 代で 15.2%であったが、それ以上の年代では 10%以下であった。
- 新型インフルエンザにかかったと思ったときにとった行動は、年代ごとに 69.4-85.1%の者がかかりつけの医療機関を受診していた。

問6 あなたのお子様は、平成21年6月から平成22年5月の間に新型インフルエンザと医師に診断されましたか？それはいつ頃でしたか？【保護者用】

有効回答数：40,661件



年齢別流行の傾向

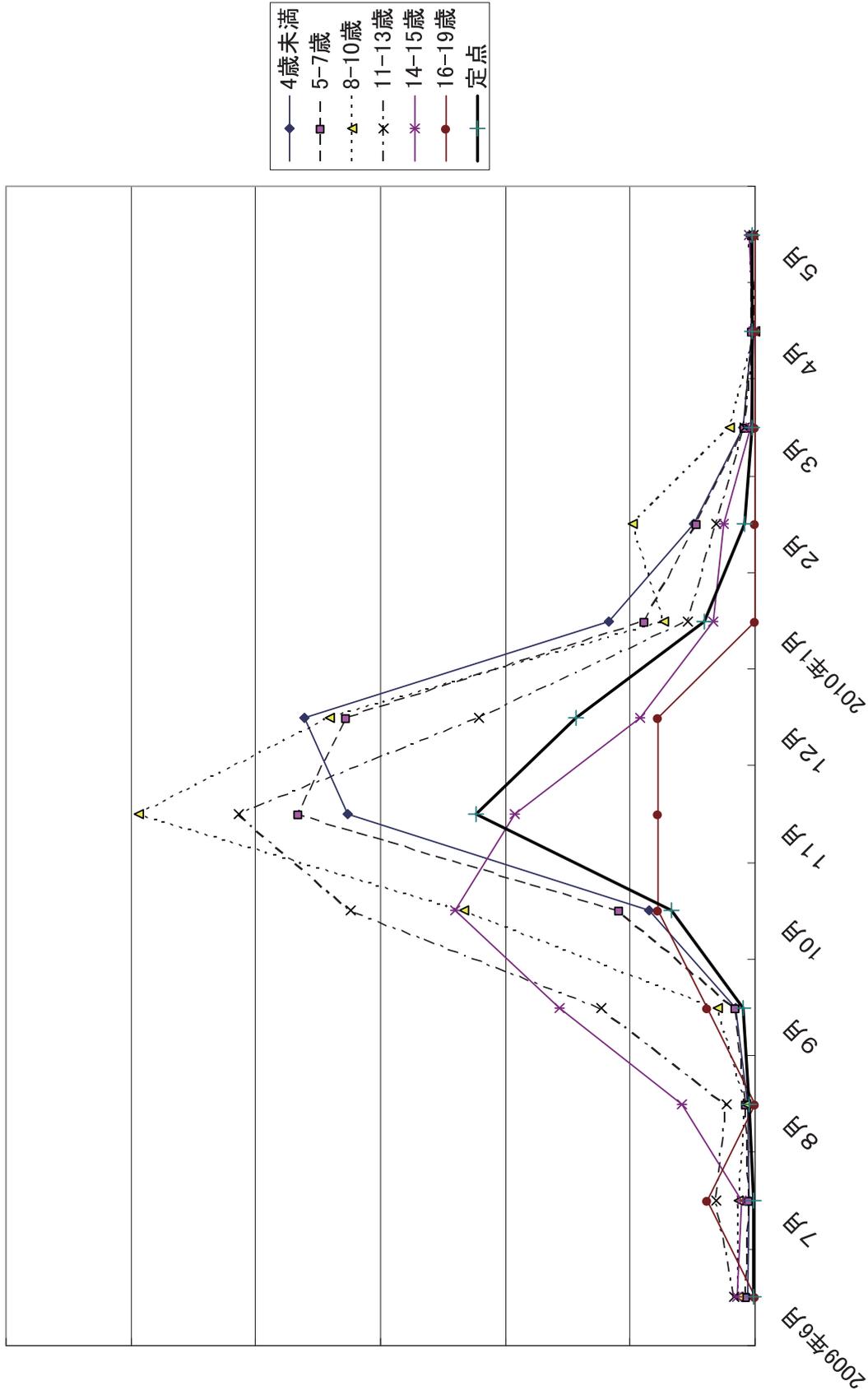


※ アンケート回答数を該当する年齢の有効回答者数／全有効回答者数で割ったもの

コメント

- 回答のあった40,661件のうち、13,795件33.9%の者が新型インフルエンザと診断されていた。
- 7月に16-19歳以上の小さなピークがあった後、9月から上昇している。(16-19歳のデータはまだ、少ないので、今後の解析で整理する。)
- 年齢ごとにピークがずれている。15歳が10月にピークとなるなど年齢が高いほど流行が早い状況がうかがえる。
- 地域別では、広島西地区及び広島市・安芸郡地区の流行が先行して始まっている。

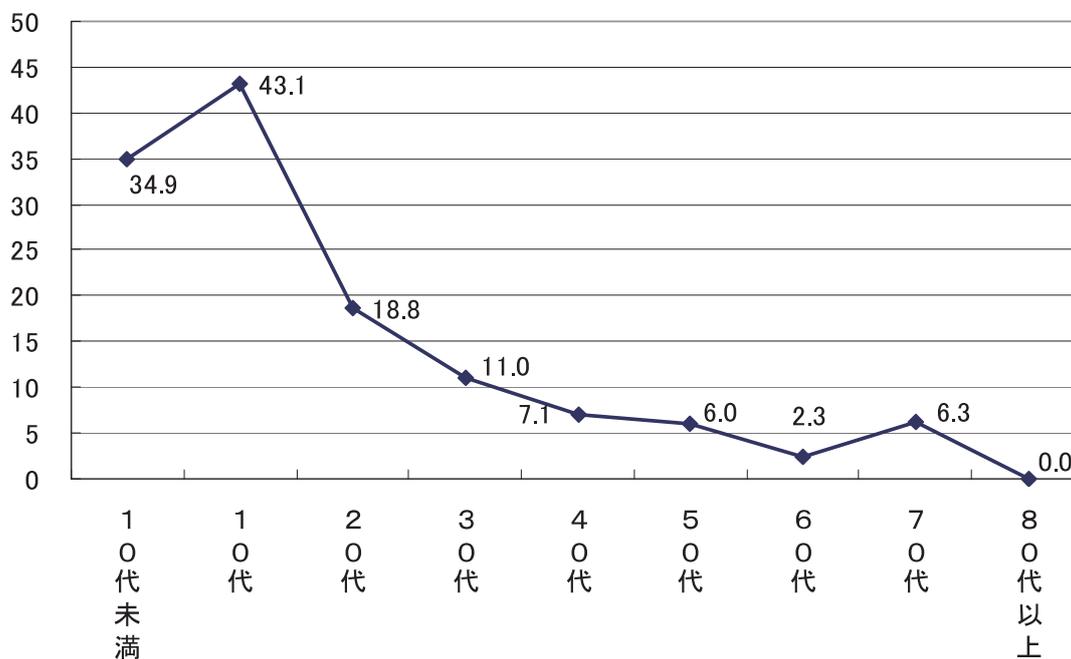
年齢区分別・月別の罹患発生者の傾向(0-19歳)



※ 新型インフルエンザと診断された者/(該当する年齢の有効回答者数/全有効回答者数)×年齢階層因子
 年齢階層因子：4歳未満は5, 5-7歳は5, 8-10歳は3, 11-13歳は3, 14-15歳は2, 16-19歳は1

アンケート調査からの罹患率・患者数の推計

【年代ごとの罹患率】



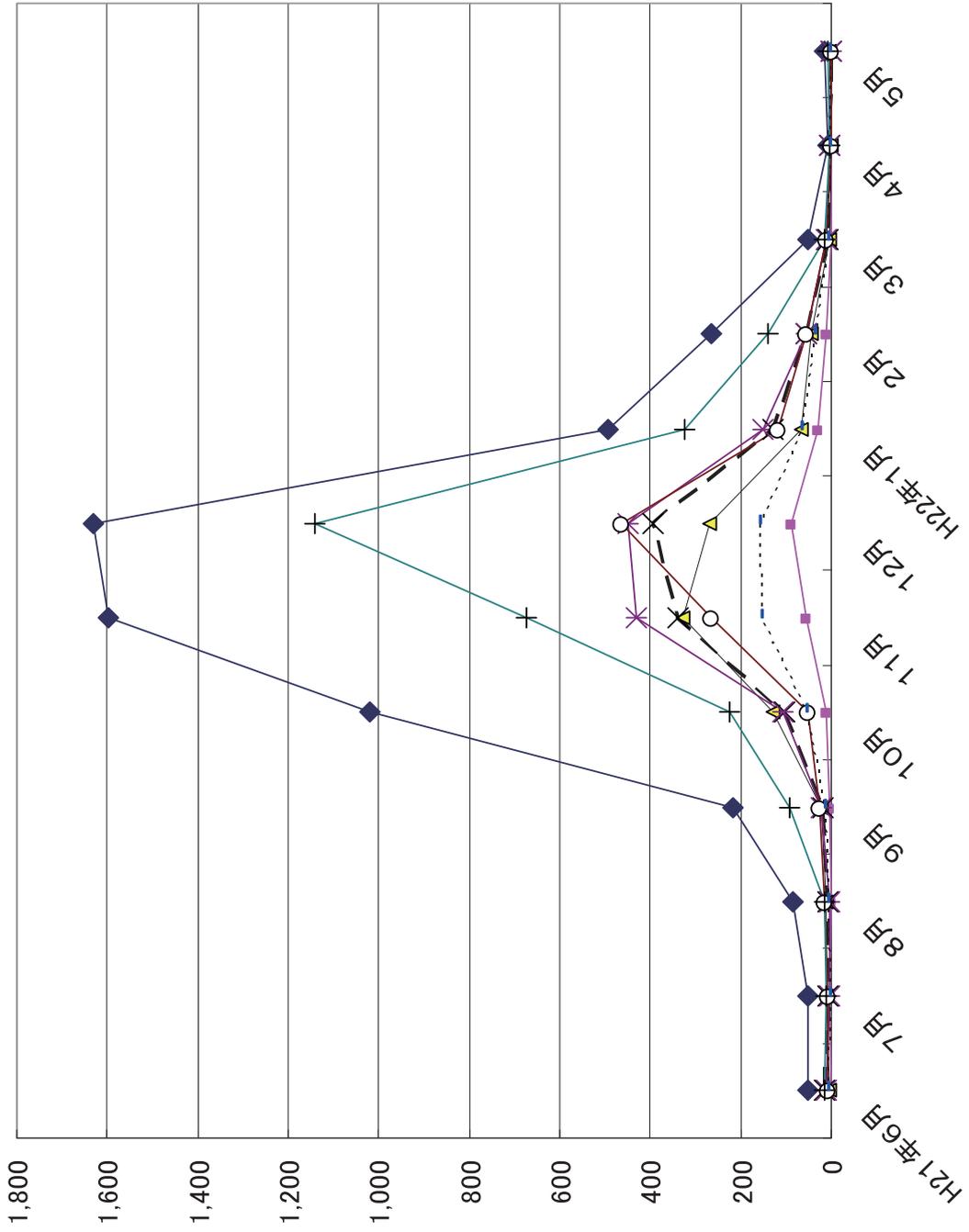
【推計患者数】

年代	推計患者数(人)
10代未満	92,480
10代	123,713
20代	62,511
30代	44,259
40代	24,127
50代	25,869
60代	8,407
70代	17,131
80代以上	0
	398,497

コメント

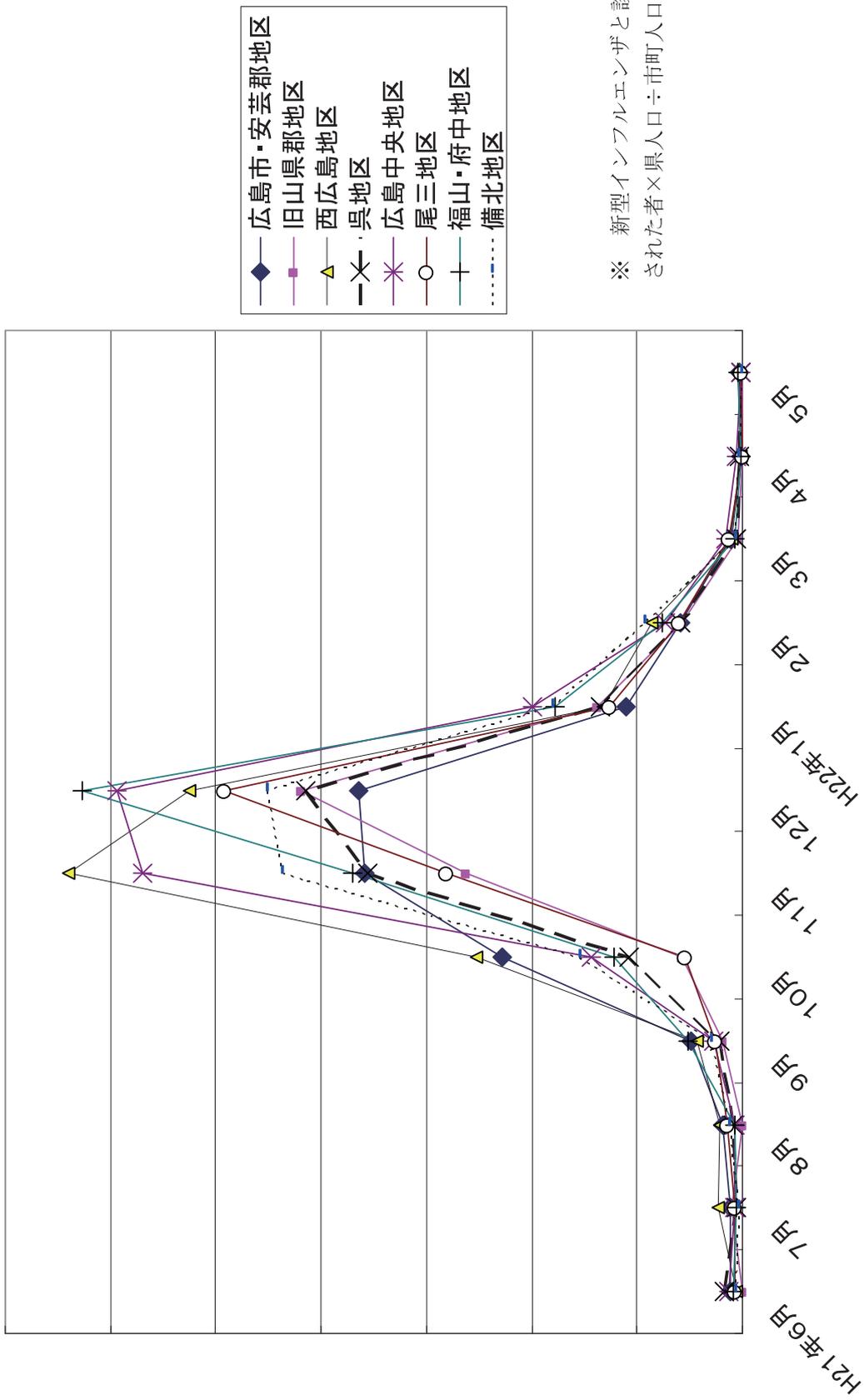
- 広島県における推定患者数は 398,497 人、罹患率 14.4%であった。
- 年代別の罹患率では、10代がもっとも高く、43.1%、次いで10代未満が34.9%であった。
- 40代以上の年代ではいずれも10%を切っていた。80代以上の年代については、回答数が少ないため統計的に誤差が大きいことが想定される。

地区別・月別の罹患者数(10代未満-80代以上)



※ 新型インフルエンザと診断されたと回答のあった者(実数)

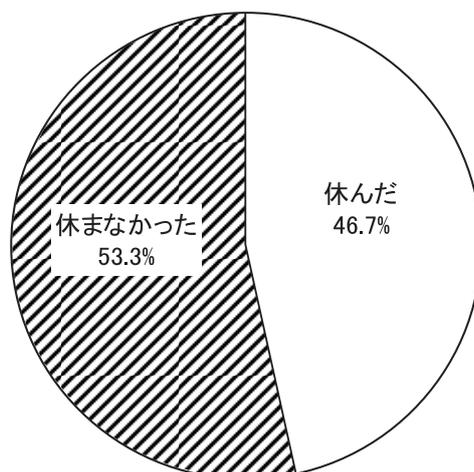
地区別・月別の罹患者発生傾向(10代未満-80代以上)



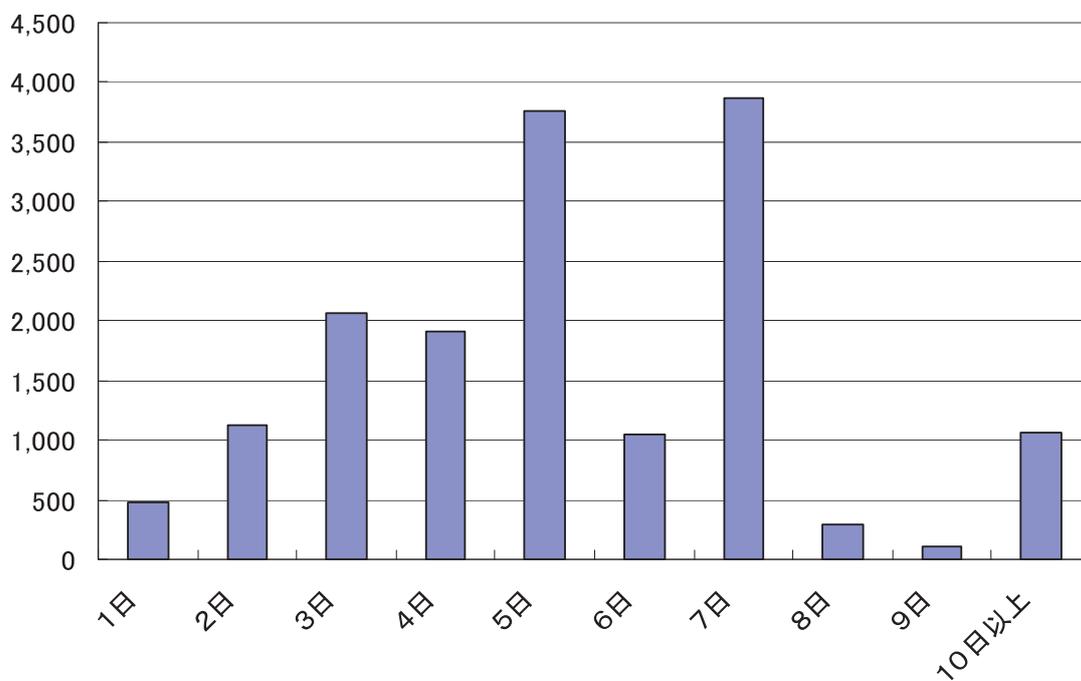
問7 新型インフルエンザに関連して、お子様は学校(保育所・幼稚園)・仕事を休まれましたか？
また、お子様が休まれた方にお聞きます。休まれた日数と理由はなんですか？

【保護者用】

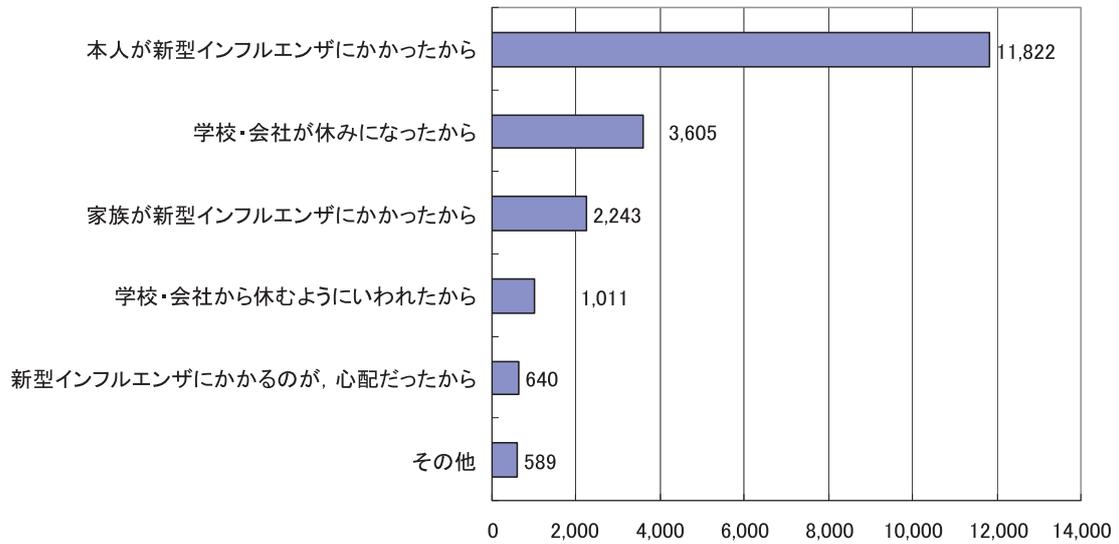
有効回答数:36,908 件



休んだ日数



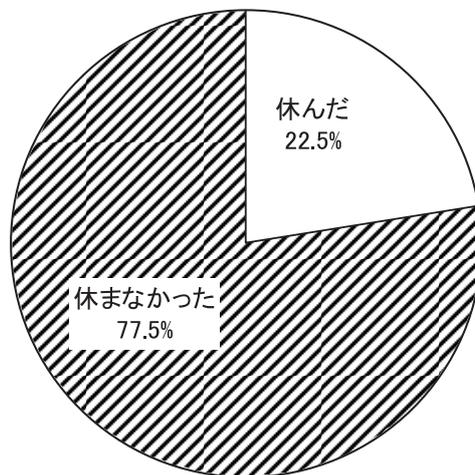
休んだ理由



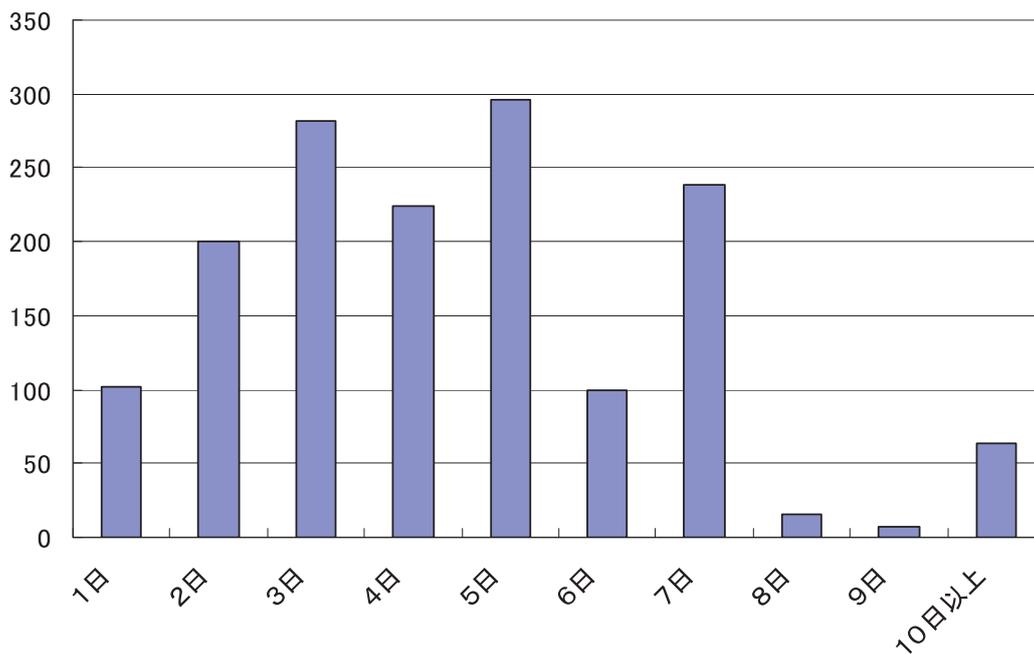
問7 新型インフルエンザに関連して、学校・仕事等を休まれましたか？また、休まれた方にお聞きます。休まれた日数と理由はなんですか？

【一般用】

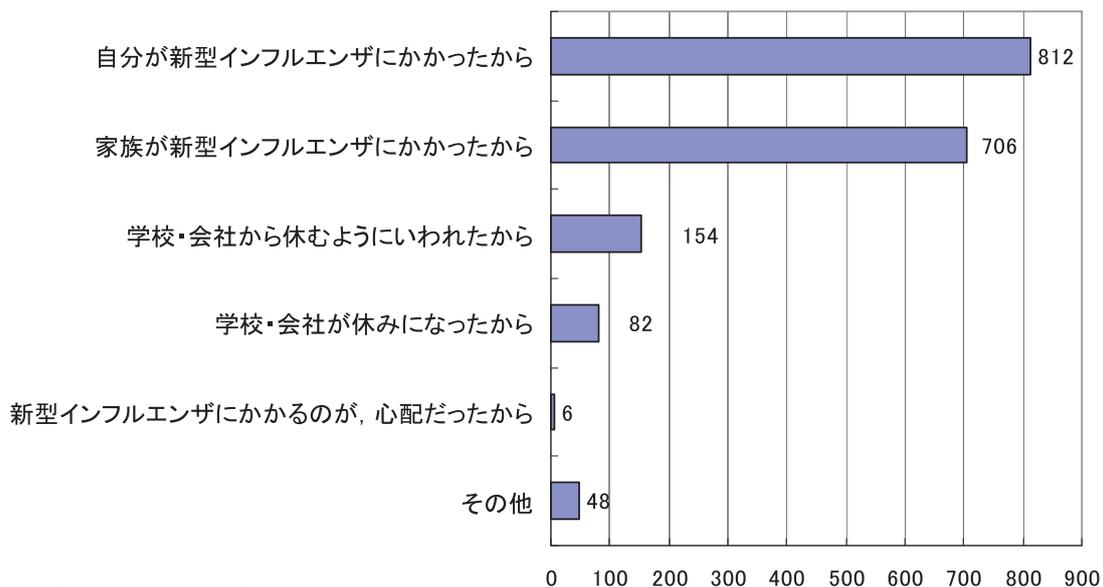
有効回答数:7,061 件



休んだ日数



休んだ理由



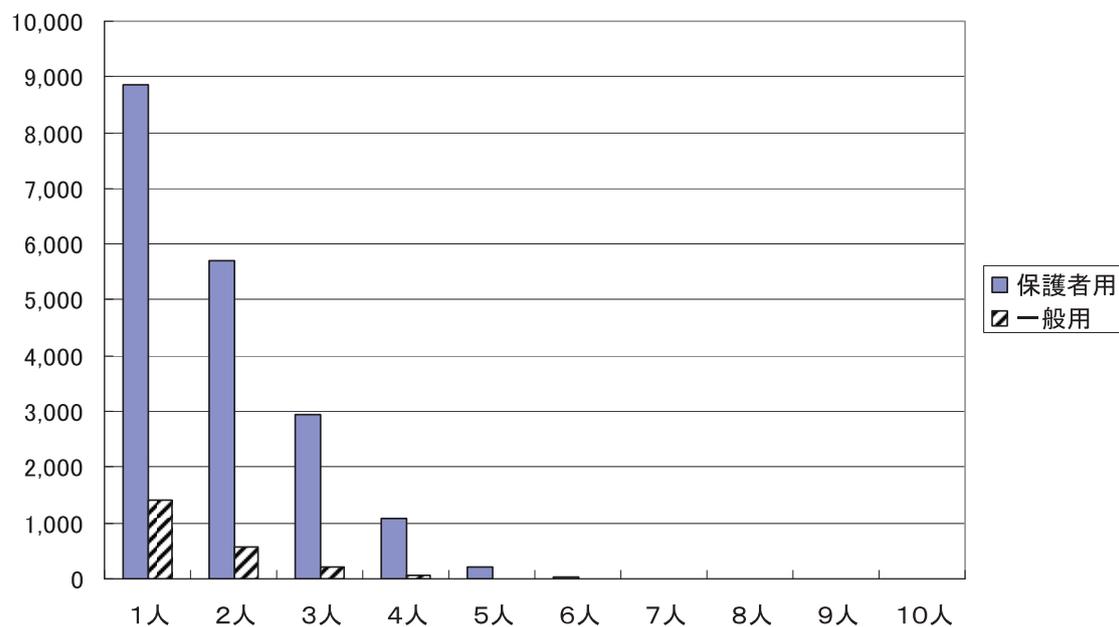
コメント

- 新型インフルエンザのために学校・仕事を休んだ者は保護者用で 17,239 件 46.7%、一般用で 1,592 件 22.5%と 15 歳までの者の休みが多かった。これはシステムティックに学校休校を実施したためと考えられる。
- 休んだ理由として一般用で「家族が新型インフルエンザにかかったから」(706 件)との回答が「自分が新型インフルエンザにかかったから」(812 件)に次いで多かった、学校休校等が保護者に大きな影響を与えていたことが伺える。

問8 同居している家族のうち何人の方が新型インフルエンザと診断されましたか？

【一般用・保護者用】

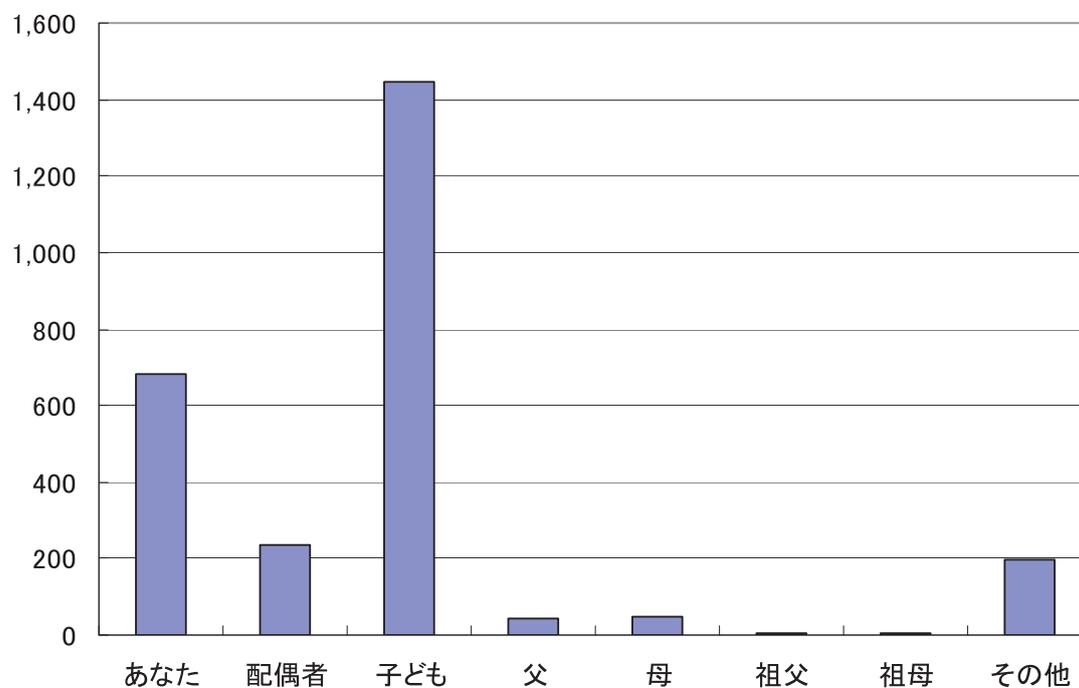
有効回答数：一般用 2,288 件 保護者用 18,845 件



問8-1 具体的に診断された方はどなたですか(あなたからみて)

【一般用】

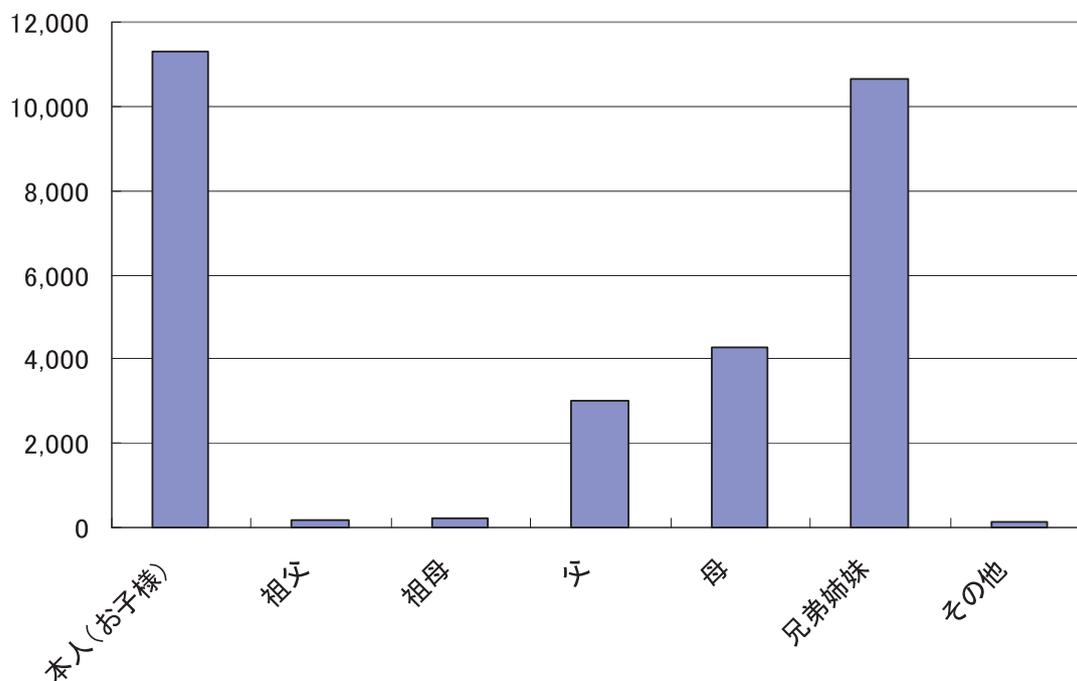
有効回答数：一般用 2,660 件



問8-2 具体的に診断された方はどなたですか(お子様からからみて)

【保護者用】

有効回答数：29,718件

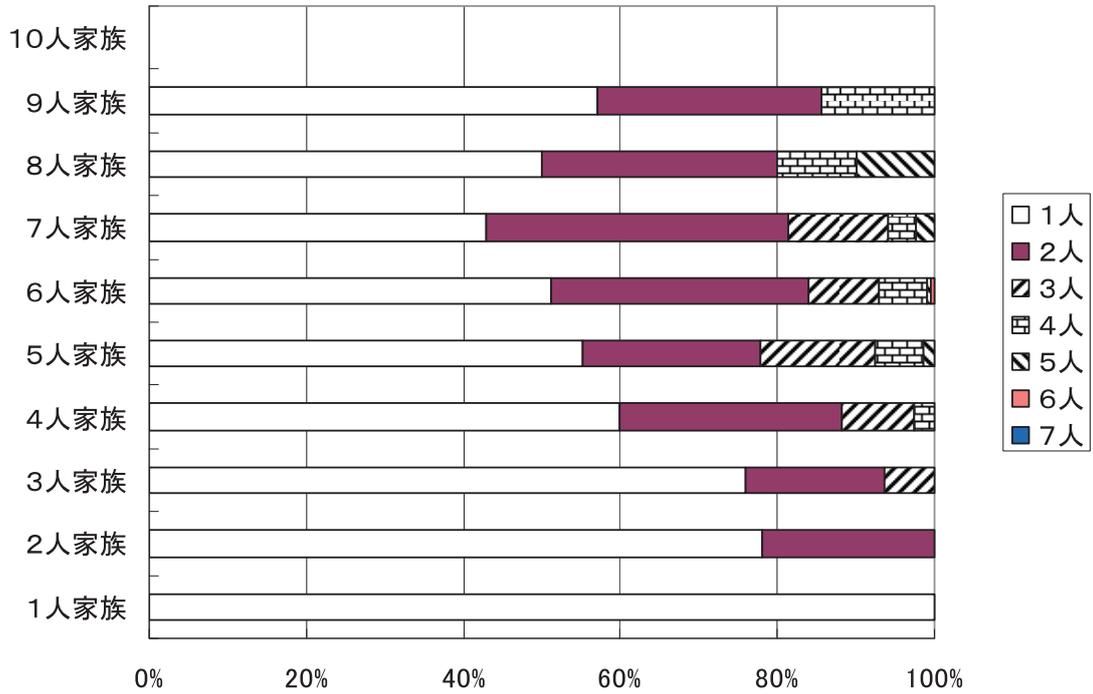


コメント

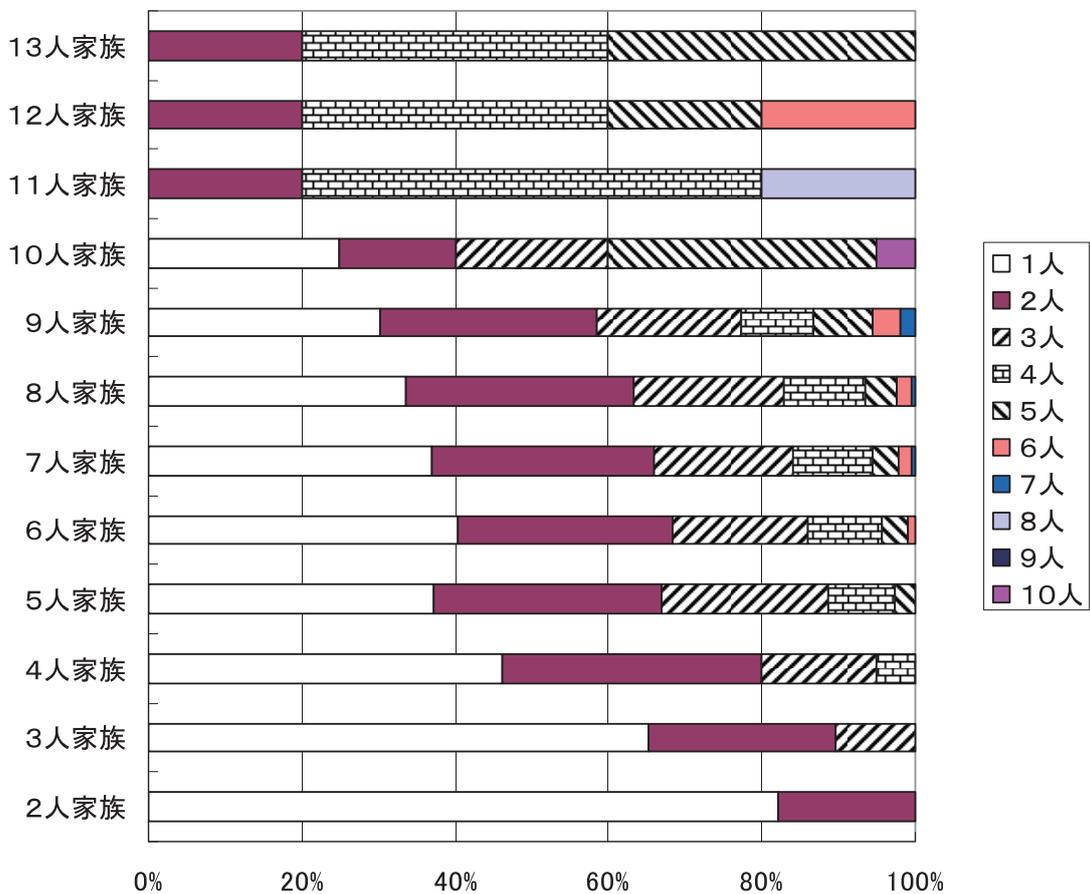
- 新型インフルエンザに罹患者は、圧倒的に子どもであり、父母、祖父母の順で低くなっている。
- 今回の新型インフルエンザの特徴として、成人に家族内感染がほとんど起こっていないことがわかった。
- 家族内に10代以下の子どもが複数いた場合には家族内感染が発生している状況にあったことが推察される。

家族人数別の罹患者の割合

【一般】



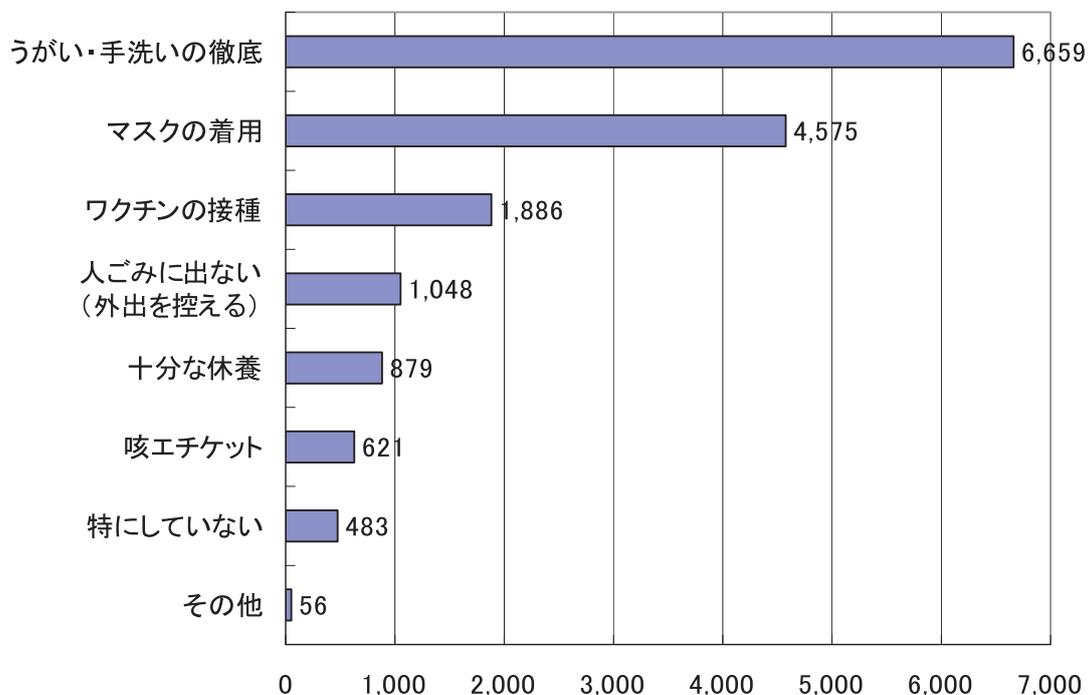
【保護者】



問9 新型インフルエンザの予防に関して注意したことはなんですか？
 (特に注意したことを2つまでお答えください。)

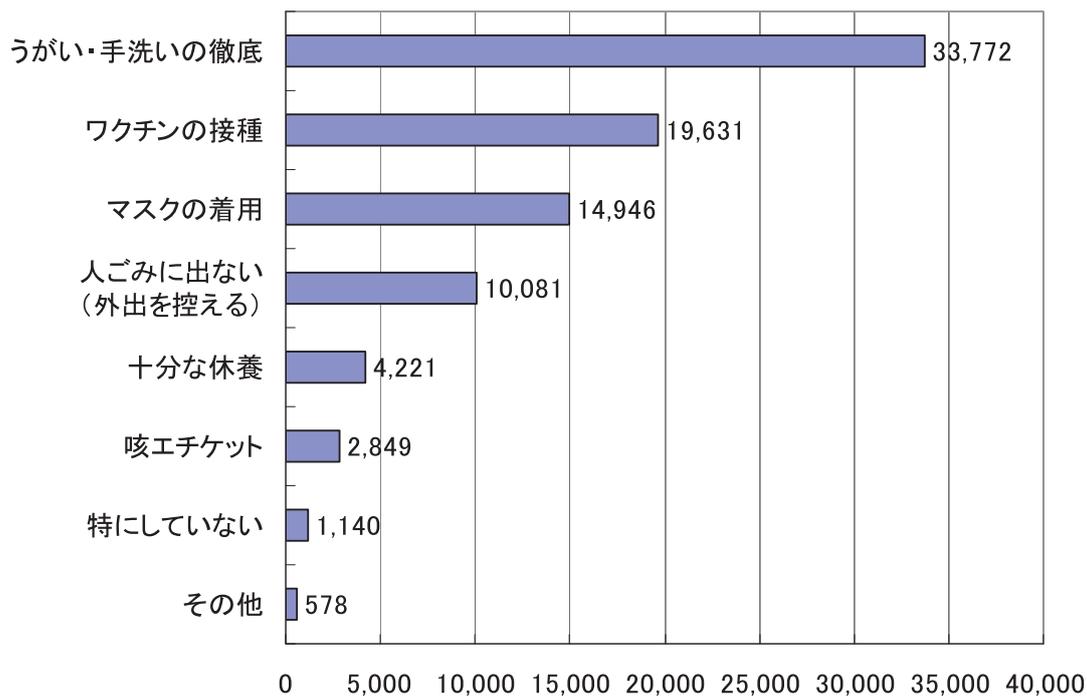
【一般用】

有効延回答数：16,207 件



【保護者用】

有効延回答数：87,218 件



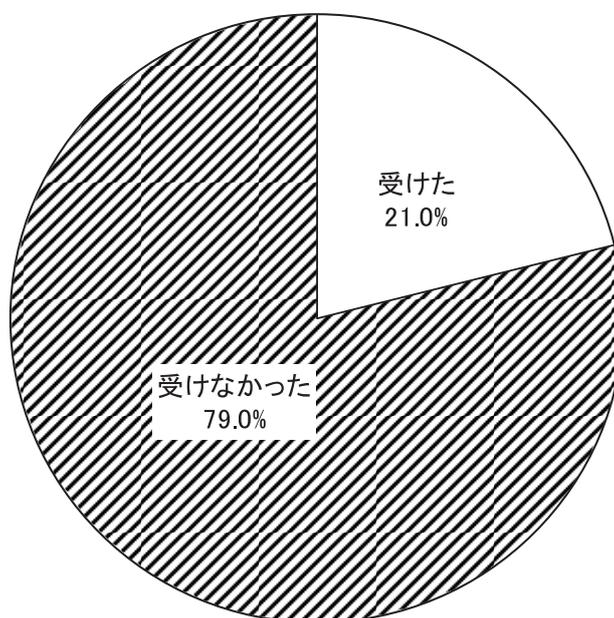
コメント

- 新型インフルエンザに関して注意したこととして「うがい・手洗いの徹底」が一般用で 6,659 件 保護者用で 38,772 件と一番多く、県民の感染予防に関する知識が高く、インフルエンザ予防対策をしっかりと実行していたことがわかる。
- 次に、二番目に多かった回答は、一般用で「マスクの着用」(4,575 件)、保護者用が「ワクチンの接種」(19,631 件)、三番目に多かった回答として、一般用で「ワクチンの接種」(1,886 件)、保護者用が「マスクの着用」(14,946 件)と逆になっていた。ただ、相対的には保護者用の「ワクチンの接種」の比率が高く、未成年に対する保護者のワクチン需要が高いことが伺える。
- マスクの着用は咳やくしゃみ等の症状がある場合に感染拡大防止策として有効であるが、この点も理解されていた。
- ただ、まん延防止対策である「咳エチケット」は一般用で 621 件、保護者用で 2,849 件と少ない回答数であった。有症者でない人がマスクを着用するとマスクの需要に供給が追いつかず、マスク不足が起こることもある。また、マスクをしていない場合であってもとっさの咳やくしゃみ等に咳エチケットで対応できることを考えると、今後習慣として行えるよう、「咳エチケット」の実践をしっかりと啓発していく必要がある。

問10 あなたは新型インフルエンザワクチンの予防接種を受けましたか？

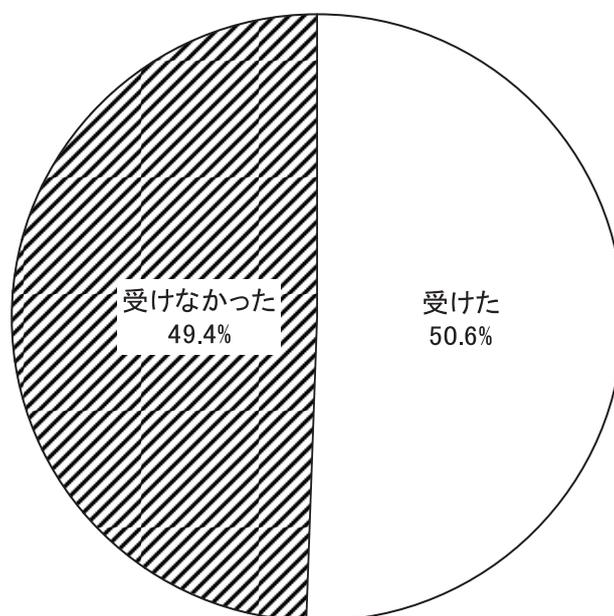
【一般用】

有効回答数：8,095 件



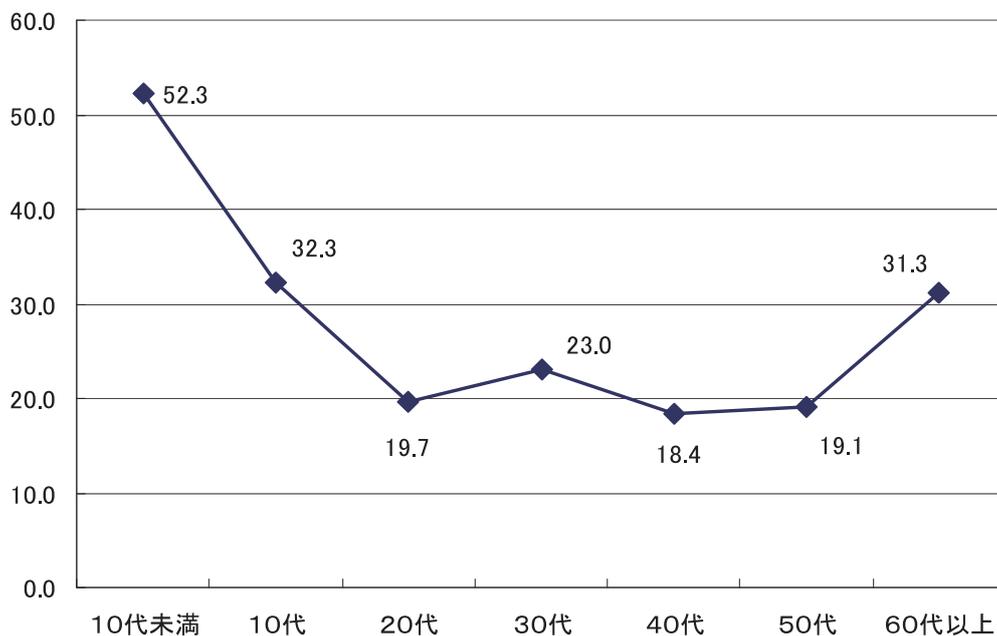
【保護者用】

有効回答数：41,139 件



接種率推計

有効回答数：49,234 件

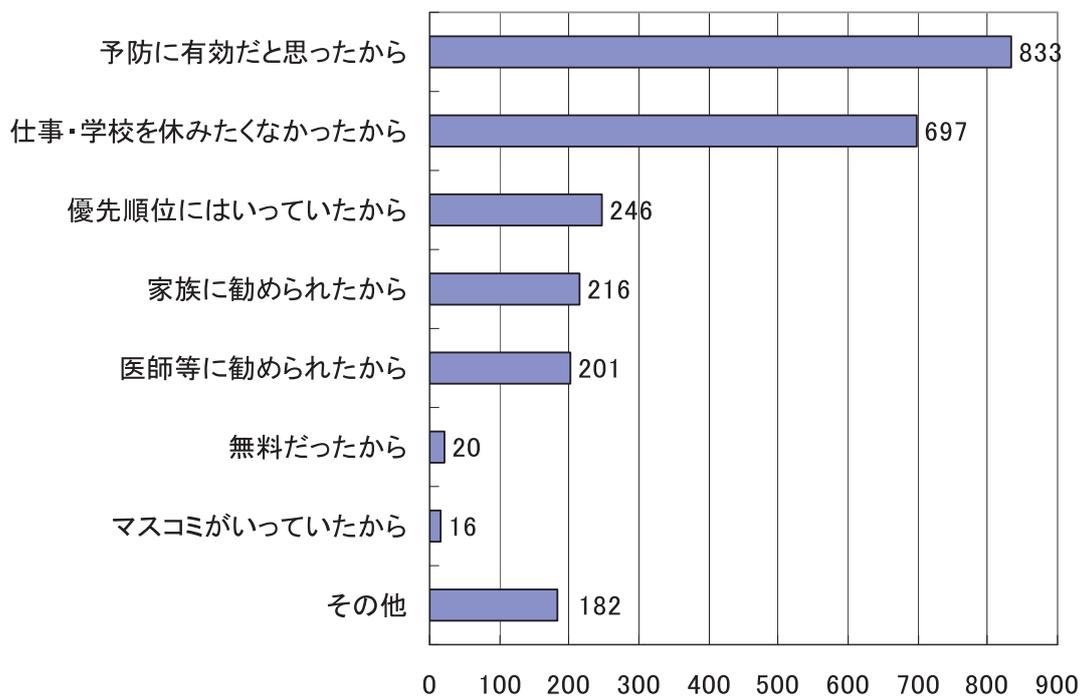


コメント

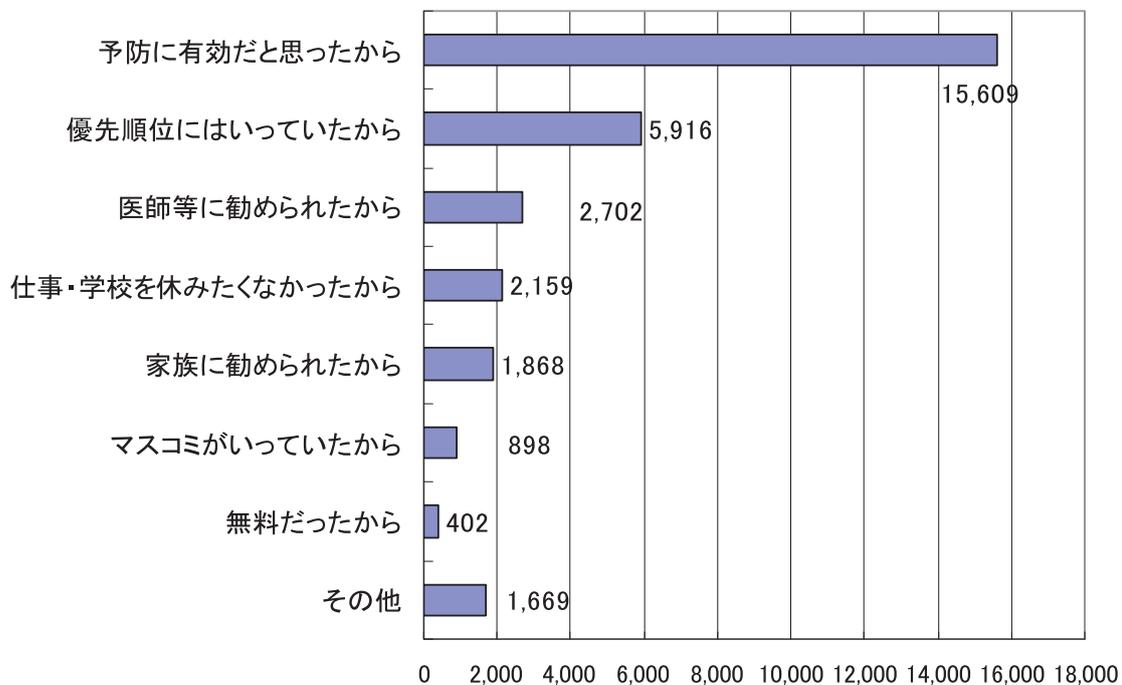
- 今回の調査（中間報告）では、予防接種を受けた者は一般用では 21.0%であったが、保護者用では 50.6%と高い値であった。年代別に見ても 10 代未満で 52.3%と高い値を示している。昨シーズンのインフルエンザ A/H1N1 が 10 代以下の子ども達を中心に流行したため、罹患していない子ども達の保護者が積極的に予防接種を受けたことが伺える。
- 予防接種の接種率の推計として 10 代未満で 52.3%で最も高く、次いで 10 代の 32.3%、60 代以上の 31.3%という順であった。
- 今回の調査では、保育所児童の保護者の回答が多かったため、比較的優先順位の早い者が積極的に予防接種をしたことも影響しているものと推察される。
- 20 代から 50 代では 20%前後と低くであった。これはワクチン接種スケジュールにより、一般成人のワクチン供給開始時期が、流行のピークを越えていたことが理由として考えられる。今シーズンのインフルエンザの流行の亜型は不明であるが、この年代は新型インフルエンザ A/H1N1 の罹患率も低いことから、今シーズンの予防接種の呼びかけが重要である。

問11 問10で「①受けた」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けた理由は何ですか？(受けた理由を2つまでお答えください。)

【一般用】有効延回答数:2,411

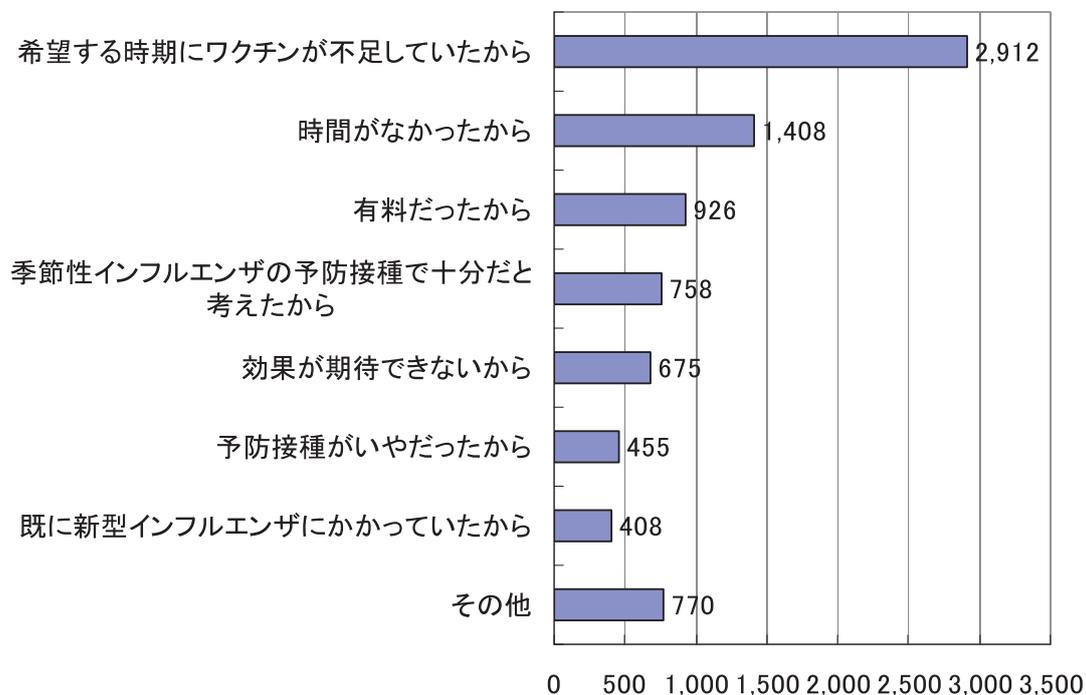


【保護者用】有効延回答数:29,071

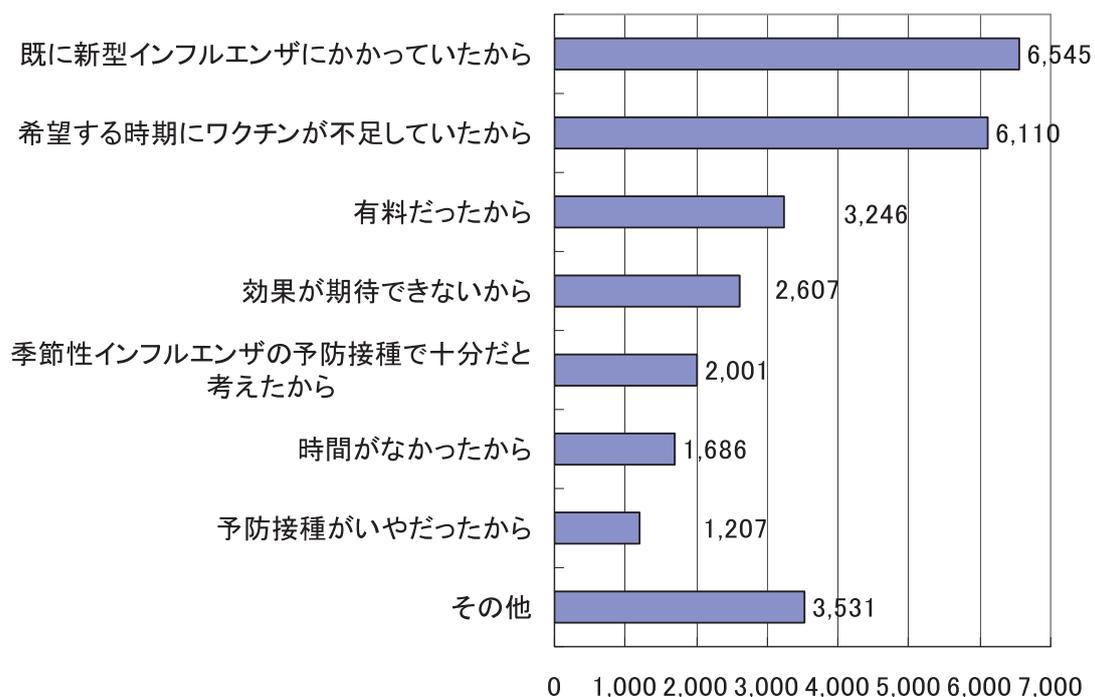


問12 問10で「②受けていない」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けなかった理由は何ですか？(受けた理由を2つまでお答えください。)

【一般用】有効延回答数：8,312



【保護者用】有効延回答数 23,408

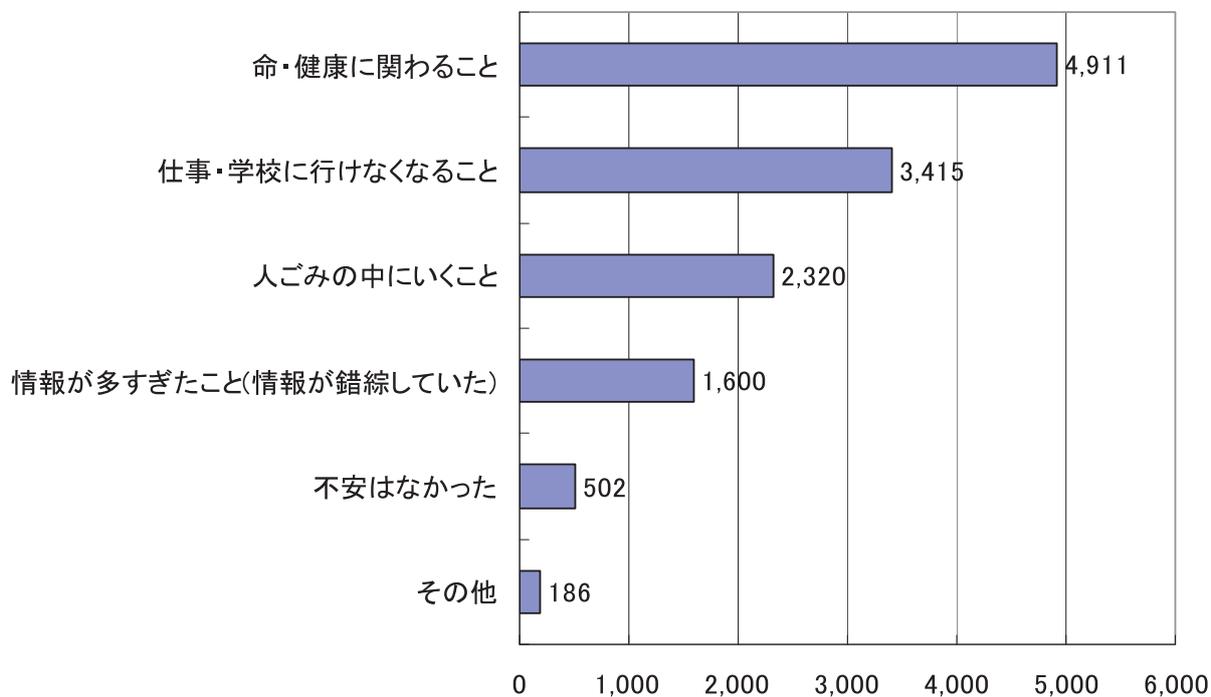


コメント

- 予防接種を受けた動機は、基本的にインフルエンザに対して有効であるという考えに基づくものであった。(一般 833 件, 保護者 15,609 件)
- 次いで、仕事・学校を休みたくなかったなどの社会的な理由が大きかった。特に一般ではその傾向が強く現れている。(一般 697 件, 保護者 5,916 件)これは、受けなかった理由として、一般の「時間がなかったから」。(一般 1,408 件)からも読み取ることができる。一般成人に関しては、昨シーズンの罹患率・接種率とも低いため、今シーズンの予防接種の呼びかけは非常に重要であると考えられる。
- 保護者アンケートの結果から、「既に新型インフルエンザにかかっていたから」、「希望する時期にワクチンが不足していたから」が上位を占めた(それぞれ 6, 545 件, 6,110 件)
- 「効果が期待できないから」、「季節性インフルエンザの予防接種で十分だと考えたから」との回答もあった。季節性インフルエンザワクチンは、新型インフルエンザには有効ではないという広報が県民に届いておらず、予防接種の必要性・重要性について、引き続きしっかりと県民に対して広報していく必要がある。
- 保護者アンケートの結果から、保護者の時間がないため、子ども達に予防接種が受けられなかったとの回答もあった。パンデミックに係る予防接種時には、保護者の負担が軽減される集団接種も推進する必要がある。

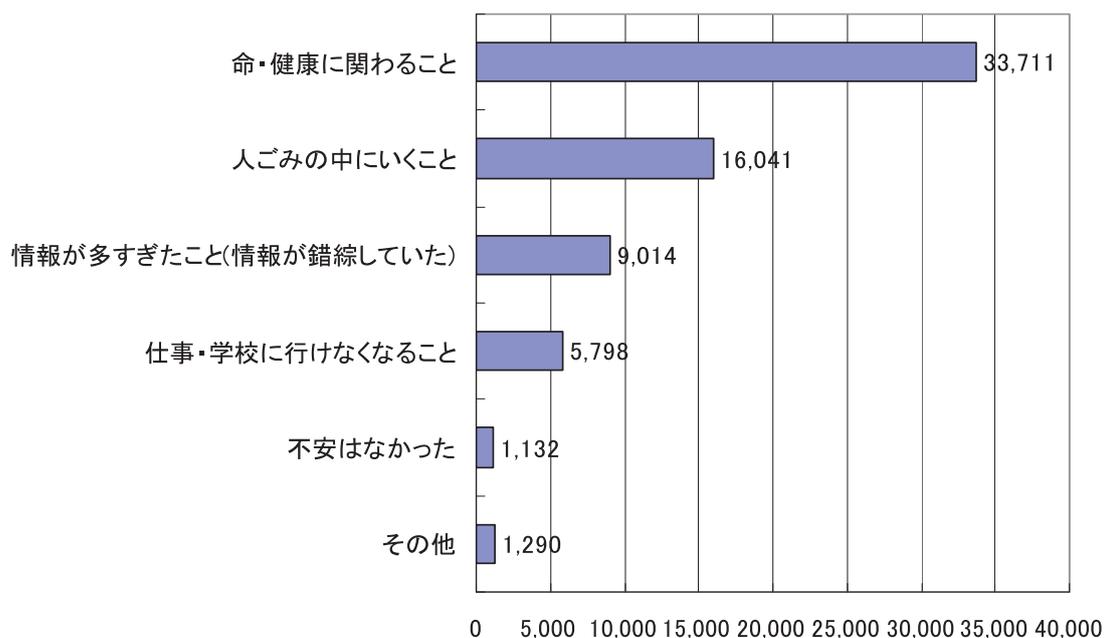
問13 お子様について、新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？
(特に不安に思ったことを2つまでお答えください)

【一般用】有効延回答数：12,934



問13 新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？
(特に不安に思ったことを2つまでお答えください)

【保護者用】有効延回答数：60,306



新型インフルエンザについてのアンケートにご協力をお願いします。(一般用)

昨年に発生した新型インフルエンザについて、みなさまの意見をお聞きしています。
該当する番号を○で囲んでください。また、枠の中にご記入ください。

問1 あなたはどちらにお住まいですか？

市・町

(記入例 広島市, 呉市, 世羅町)

問2 あなたは何歳ですか？

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代
⑧80代以上

問3 あなたの性別はどちらですか？

- ①男性 ②女性

問4 あなたは新型インフルエンザに関する情報で、どの情報が一番役立ちましたか？

- ①テレビ ②新聞 ③パンフレット(折込みちらし含む) ④インターネット
⑤その他 ()

問5 あなたは、新型インフルエンザにかかったと思ったことがありますか？

- ①ある ②ない

└─▶ 新型インフルエンザにかかったと思ったとき、どうされましたか？

- i かかりつけの医療機関を受診した
ii かかりつけ以外の医療機関を受診した
iii 保健所等(発熱相談センター)に相談して、指定された医療機関で受診した
iv 保健所等(発熱相談センター)に相談して、自宅で療養した
v 受診しなかった
vi その他 ()

問6 あなたは、平成21年6月から平成22年5月の間に新型インフルエンザと医師に診断されましたか？それはいつ頃でしたか？

- ①診断された ②診断されなかった

└─▶ ①6月 ②7月 ③8月 ④9月 ⑤10月 ⑥11月 ⑦12月
⑧1月 ⑨2月 ⑩3月 ⑪4月 ⑫5月

問7 新型インフルエンザに関連して、学校・仕事を休まれましたか？また、休まれた方にお聞きします。休まれた日数と理由はなんですか？

- ①休んだ 日 ②休まなかった

└─▶ 休んだ理由はなんですか？

- i 自分が新型インフルエンザにかかったから
ii 家族が新型インフルエンザにかかったから
iii 学校・会社から休むようにいわれたから
iv 学校・会社が休みになったから
v 新型インフルエンザにかかるのが、心配だったから
vi その他 ()

問8 あなたの同居している家族は何人ですか？そのうち何人の方が新型インフルエンザと診断されましたか？

あなたを含めた家族 人

あなたを含めた家族のうち、新型インフルエンザと診断された家族 人

↓
具体的に診断された方はどなたですか？(あなたからみて)

- ①あなた ②配偶者 ③子ども(人中 人) ④父 ⑤母 ⑥祖父 ⑦祖母
⑧その他()

問9 あなたが新型インフルエンザの予防に関して、注意したことはなんですか？

(特に注意したことを2つまでお答えください)

- ①ワクチンの接種 ②うがい・手洗いの徹底 ③マスクの着用 ④咳エチケット
⑤人ごみに出さない(外出を控える) ⑥十分な休養 ⑦特にしていない
⑧その他()

問10 あなたは新型インフルエンザワクチンの予防接種を受けましたか？

- ①受けた(問11へ) ②受けていない(問12へ)

問11 問10で「①受けた」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けた理由は何ですか？(受けた理由を2つまでお答えください)

- ①医師等に勧められたから ②家族に勧められたから
③仕事・学校を休みたくなかったから ④優先順位にはいっていたから
⑤マスクミがいていたから ⑥無料だったから ⑦予防に有効だと思ったから
⑧その他()

問12 問10で「②受けていない」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けなかった理由は何ですか？(受けなかった理由を2つまでお答えください)

- ①予防接種がいやだったから ②既に新型インフルエンザにかかっていたから
③季節性インフルエンザの予防接種で十分だと考えたから ④効果が期待できないから
⑤時間がなかったから ⑥希望する時期にワクチンが不足していたから
⑦有料だったから ⑧その他()

問13 新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？

(特に不安に思ったことを2つまでお答えください)

- ①命・健康に関わること ②仕事・学校に行けなくなること
③情報が多すぎたこと(情報が錯綜していた) ④人ごみの中に行くこと ⑤不安はなかった
⑥その他()

問14 その他、新型インフルエンザへの行政機関および医療関係者の対応について

ご意見がありましたらお書きください

ご協力ありがとうございました。広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

※ 県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された**広島県地域保健対策協議会**は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を行っています。

新型インフルエンザについてのアンケートにご協力をお願いします。(保護者用)

既にアンケートをお答えの方はご遠慮ください。

昨年に発生した新型インフルエンザについてみなさまの意見をお聞きしています。
よろしければ、お子様のことに関して保護者の方がお答えください。

※複数のお子様がおられましたら、どなたかお一人に関して、
該当する番号を○で囲んでください。また、枠の中にご記入ください。

- 問1 あなたはどちらにお住まいですか？
[] 市・町 (記入例 []市, []市, []世羅町)
- 問2 あなたのお子様は何歳ですか？(平成22年3月31日現在の年齢をご記入ください。)
[] 歳 (記入例 []歳, []歳)
- 問3 あなたのお子様の性別はどちらですか？
①男性 ②女性
- 問4 あなたは新型インフルエンザに関する情報で、どの情報が一番役立ちましたか？
①テレビ ②新聞 ③パンフレット(折込みちらし含む) ④インターネット
⑤その他 ()
- 問5 あなたのお子様が、新型インフルエンザにかかったと覚えたことがありますか？
①ある ②ない
↳ 新型インフルエンザにかかったと覚えたとき、どうされましたか？
i かかりつけの医療機関を受診した
ii かかりつけ以外の医療機関を受診した
iii 保健所等(発熱相談センター)に相談して、指定された医療機関で受診した
iv 保健所等(発熱相談センター)に相談して、自宅で療養した
v 受診しなかった
vi その他 ()
- 問6 あなたのお子様は、平成21年6月から平成22年5月の間に新型インフルエンザと医師に診断されましたか？それはいつ頃でしたか？
①診断された ②診断されなかった
↳ ①6月 ②7月 ③8月 ④9月 ⑤10月 ⑥11月 ⑦12月
⑧1月 ⑨2月 ⑩3月 ⑪4月 ⑫5月
- 問7 新型インフルエンザに関連して、お子様は学校(保育所・幼稚園)を休まれましたか？また、お子様が休まれた方にお聞きします。休まれた日数と理由はなんですか？
①休んだ []日 ②休まなかった
↳ 休んだ理由はなんですか？
i 本人が新型インフルエンザにかかったから
ii 家族が新型インフルエンザにかかったから
iii 学校(保育所・幼稚園)から休むようにいわれたから
iv 学校(保育所・幼稚園)が休みになったから
v 新型インフルエンザにかかるのが、心配だったから
vi その他 ()

問8 お子様と同居している家族は何人ですか？そのうち何人の方が新型インフルエンザと診断されましたか？

お子様を含めた家族

お子様を含めた家族のうち、新型インフルエンザと診断された家族

↓
具体的に診断された方はどなたですか？(お子様からみて)

①本人(お子様) ②祖父 ③祖母 ④父 ⑤母 ⑥兄弟姉妹(人中 人)
⑦その他()

問9 あなたのお子様に対し、新型インフルエンザの予防に関して注意したことはなんですか？
(特に注意したことを2つまでお答えください)

①ワクチンの接種 ②うがい・手洗いの徹底 ③マスクの着用 ④咳エチケット
⑤人ごみに出さない(外出を控える) ⑥十分な休養 ⑦特にしていない
⑧その他()

問10 あなたのお子様は新型インフルエンザワクチンの予防接種を受けましたか？

①受けた(問11へ) ②受けていない(問12へ)

問11 問10で「①受けた」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けた理由は何ですか？(受けた理由を2つまでお答えください)

①医師等に勧められたから ②家族に勧められたから
③仕事・学校を休みたくなかったから ④優先順位にはいなかったから
⑤マスクがいていたから ⑥無料だったから ⑦予防に有効だと思ったから
⑧その他()

問12 問10で「②受けていない」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けさせなかった理由は何ですか？(受けなかった理由を2つまでお答えください)

①予防接種がいやだったから ②既に新型インフルエンザにかかっていたから
③季節性インフルエンザの予防接種で十分だと思ったから ④効果が期待できないから
⑤時間がなかったから ⑥希望する時期にワクチンが不足していたから
⑦有料だったから ⑧その他()

問13 お子様について、新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？
(特に不安に思ったことを2つまでお答えください)

①命・健康に関わること ②学校(保育所・幼稚園)に行けなくなること
③情報が多すぎたこと(情報が錯綜していた) ④人ごみの中に行くこと ⑤不安はなかった
⑥その他()

問14 その他、新型インフルエンザへの行政機関および医療関係者の対応について
ご意見がありましたらお書きください

ご協力ありがとうございました。広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

※ 県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された**広島県地域保健対策協議会**は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を行っています。

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

委員長	横山 隆	広島市医師会運営安芸市民病院
委員	市川 徹	広島市立舟入病院
	大毛 宏喜	広島大学病院感染症科
	吉川 正哉	広島県医師会
	岸本 益実	広島県健康福祉局保健医療部健康対策課
	桑原 正雄	県立広島病院長
	坂口 剛正	広島大学大学院医歯薬学総合研究科ウイルス学
	坂口 浩章	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	下江 俊成	福山市医師会
	近末 文彦	広島県保健所長会
	内藤 雅夫	呉市保健所
	中島浩一郎	庄原赤十字病院
	永田 忠	広島市医師会
	新田 康郎	新田小児科医院
	檜谷 義美	広島県医師会
	藤上 良寛	広島県臨床検査技師会
	堀江 正憲	広島県医師会
	松尾 健	広島県立総合技術研究所保健環境センター保健研究部
	松岡 俊彦	広島県健康福祉局保健医療部健康対策課
	村尾 正治	福山市保健所
	柳田 実郎	広島県医師会
	横崎 典哉	広島大学病院検査部
	渡邊 弘司	呉市医師会